幻の女（1944）

PHANTOM LADY

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1951/04/17
公開情報 セントラル

【解説】

バーで知り合った見知らぬ女とショウを観た後、帰宅したスコット（Ａ・カーティス）を待っていたのは殺された妻の死体と刑事たちだった。彼はアリバイの証人として昨夜一緒だった女を探すが、彼女の手掛かりがないばかりか、彼女を見ているはずの人間が口を揃えてそんな女は見た事がないと言う。スコットの秘書キャロル（Ｅ・レインズ）は、事件に懐疑的なバージェス警部（Ｔ・ゴメス）と、スコットの親友ジャック（Ｆ・トーン）の協力を得て、“幻の女”の足取りを追うのだが……。Ｗ・アイリッシュの同名小説の映画化で、スリラー作品を得意とするＲ・シオドマクが監督。上司の無実を晴らそうと秘書が奔走するあたりからミステリ要素が強くなってくるが、特に証人であるバーテンダーを尾行するくだりのサスペンスや、商売女に扮装して接近するドラマー（Ｅ・クック・Ｊｒ快演）をめぐっての迫力ある演出など見事なものである。

【クレジット】

監督	ロバート・シオドマク	Robert Siodmak
共同製作	ジョーン・ハリソン	Joan Harrison
原作	ウィリアム・アイリッシュ	William Irish
脚本	バーナード・Ｃ・ショーンフェルド	Bernard C. Schoenfeld
撮影	ウディ・ブレデル	Woody Bredell
音楽	ハンス・Ｊ・サルター	Hans J. Salter
出演	エラ・レインズ	Ella Raines
	フランチョット・トーン	Franchot Tone
	アラン・カーティス	Alan Curtis
	トーマス・ゴメス	Thomas Gomez
	フェイ・ヘルム	Fay Helm
	アウロラ	Aurora
	エリシャ・クック・Ｊｒ	Elisha Cook Jr.
	レジス・トゥーミイ	Regis Toomey
	ジョセフ・クレハン	Joseph Crehan
	アンドリュー・トムベス	Andrew Tombes

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.